

報 告 2

「ふれあいバス等懇談会の開催結果について」

報告2 報告事項

■令和5年度ふれあいバス等懇談会 開催結果

時間 14:00～15:30(8月19日のみ 9:00～10:30)

	開催日	場 所	参加 人数
1	8月16日(水)	川島ライフデザインセンター 集会室	4人
2	8月17日(木)	新鵜沼台コミュニティセンター 集会室1・2	16人
3	8月18日(金)	蘇原コミュニティセンター 集会室	6人
4	8月19日(土)	産業文化センター 2階第3会議室	7人
5	8月21日(月)	稲羽コミュニティセンター 集会室1	5人
6	8月22日(火)	尾崎中央ふれあい会館 集会室大	15人
7	8月23日(水)	各務福祉センター 集会室	5人
8	8月24日(木)	緑苑中央集会所「ふらっと」	25人
9	8月28日(月)	鵜沼福祉センター 集会室	14人
10	8月29日(火)	陵南福祉センター 集会室	6人
11	8月30日(水)	中央ライフデザインセンター 1階大会議室	2人
12	8月31日(木)	産業文化センター 2階第3会議室	2人

令和5年度 合計 107人

令和5年度ふれあいバス等懇談会 意見

ふれあいバス等懇談会の意見交換では、はじめに説明した10月1日からの改正や運転免許証返納支援などの市の取り組み、情報メール配信に関する質問のほか、公共交通に関する意見や要望を聴いた。運行本数や運行時間、停留所の新設・移動やルートの変更に関する要望の声が多い。

※ () 内の数字は、懇談会の番号

運行本数・運行時間

- 運行本数を増やしてほしい
- 通勤・通学に利用するため、もっと遅い時刻まで運行してほしい
- 土日にも運行してほしい

〈要望・意見〉

- ・川島線を1時間に1本にしてほしい。(1)
- ・東海中央病院から戻る便が3時間おきになっている。間に1本増やしてほしい。(2)
- ・東西線での通学時、雨の日は混雑している。蘇原からも大勢乗るようなので、そのあたりからもう1本走らせてはどうか。(6)
- ・東西線で通学しているが、帰りはバスがないため電車を利用し那加線に乗り継ぐ。市役所前駅発が、右回りも左回りも毎時10分発になったため待ち時間が非常に長くなってしまった。夕方の時間帯を増やすか、時間をずらしてもらえないか。(6)
- ・もう少し遅い時間まで運行してほしいと要望していたのに、市役所前駅から尾崎の最終便をなぜ早くしたのか。明確な理由を教えてください。(6)
- ・笠松川島線の最終便の時刻が早いため、帰りは笠松や木曾川に迎えに来てもらっているという声を聞く。夕方に便を増やせばもっと利用が増えるのでは。(1)
- ・各務原東部線は市から補助金が出ているから22時台まであり、緑苑団地線は補助金がないため21時台で終わってしまうということか。(8)
- ・東西線を土日祝日も運行してほしい。(2) (9) (11)

停留所・ルート

- 最寄りの停留所が遠い
- 停留所を設置・移設してほしい
- 乗り継ぎをせず目的の停留所まで直接行きたい

〈要望・意見〉

- ・最寄りの停留所までが遠い。(3) (12)
- ・同じ市民なのにバス停があるところとないところがあり不公平で、配慮が足りてい

ない。1日1回でも近くに通してほしい。(3)

- ・10月の改正で那加線の「大島町」が廃止になるため、市役所に行けなくなる。利用する人もいるので、復活をお願いしたい。(3)
- ・東海中央病院へ行きたい。(2)(7)
- ・総合運動公園にバス停を作してほしい。また、川島のスポーツ公園にはバス停があるが、チョイソコではいけない。(7)
- ・ふれあいバス蘇原線「蘇原旭町」と「JR蘇原駅北」の間の信号付近に停留所がほしい。(3)
- ・「新加納町東」と「新那加駅」の間に停留所を1か所新設してほしい。高齢者にとって切実な思い。(4)
- ・那加線の「尾崎ショッピングセンター前」の停留所を岐阜生協の前に移動してほしい。便利になるので利用者が2倍になると思う。(6)
- ・「尾崎ショッピングセンター前」を利用しており、今の場所の方が便利。(6)
- ・JR各務ヶ原駅の停留所が駅の南にあり、高山方面に行くときは向こう側にいかなければいけないが、足が悪いので大変。線路の北にしてもらいたい。(10)
- ・チョイソコ鶴沼南エリア②から直接鶴沼市民サービスセンターへ行けるようにしてほしい。(9)
- ・一人ひとりの行きたい場所の要望を、もっと突っ込んで検討してほしい。(6)

乗り継ぎ

○ふれあいバスから路線バスに乗り継ぎができるようにしてほしい

○乗り継ぎができるよう、時間を変更してほしい

〈要望・意見〉

- ・小網から笠松川島線が発車する松倉へ行く手段がない。ふれあいバスから笠松川島線に乗り継げるとよい。(1)
- ・鶴沼市民サービスセンターへ行って、4～5分で逆回りの便に乗ろうとしたが、最初に乗った便が遅延して乗れなかった。改善してほしい。(8)

乗降環境

○停留所の待合環境を整えてほしい

〈要望・意見〉

- ・須衛・各務・八木山エリアから鶴沼南エリア①に行くには乗り継ぎが必要だが、乗り継ぎ時に待つ場所はあるのか。停留所はコンビニにあるほうがよいのでは。(7)
- ・「鶴沼西町」の乗降時に、縁石があり危ない。バスの幅に切り下げてほしい。(8)

運賃

- 乗り継ぎ割引の適用時間をのばしてほしい
- 高齢者の運賃を無料にしてほしい

〈要望・意見〉

- ・来年度からふれあいバスの通学利用を検討しているが、乗り継ぎ時間が長く割引が適用されないので、乗継割引を1時間までにしてほしい。(3)
- ・蘇原線から那加線右回りに乗り継ぐ際に、改正前のダイヤでは45分以内が難しかった。乗継割引を60分以内に伸ばしてほしい。(11)
- ・ふれあいバスで ayuca 以外の manaca などのカードが利用できるようになった場合、乗継割引はどうなるのか。(11)
- ・高齢者は無料にしてほしい。(6)
- ・100円で乗車できるのはありがたい。(3)

チョイソコエリア拡大

- チョイソコのエリアを増やしてほしい

〈要望・意見〉

- ・鵜沼だけでなく、尾崎にもチョイソコを入れてほしい。(6)
- ・チョイソコのエリアを増やしてほしい。東海中央病院にチョイソコで行きたい。(7)

サービス・対応

- 対応を改善してほしい
- 対応は良い

〈要望・意見〉

- ・バスを降りるときにブザーを押しても止まってもらえないことがあった。(2)
- ・目の前でバスが通り過ぎ、手を振ったけれど行ってしまった。(2)
- ・バスが大幅に遅れたときはせめて一言おわびの言葉がほしい。(10)
- ・忘れ物をしたときに連絡したら、次のバスに乗せて届けてくれた。運転手の対応は良い。(2)

車両

- 大きいバスにして座れるようにしてほしい
- バスを新しくできないか
- 乗客が少ないのに大きなバスを走らせる必要はない

〈要望・意見〉

- ・朝の便では、ふれあいバスに座れない。大きいバスにしてはどうか。(8)
- ・現在は、日野のポンチョを使用しているが三菱のローザを使用すれば座席数が増えるのではないか。(8)
- ・イオンバスは混雑しているが、満員のふれあいバスはほとんど見たことがない。こんなに大きなバスが必要なのか。市役所工事中の時のチャーター便くらいの車で、台数を増やすことも一つの方法だと思う。(4)
- ・感染症が増えており、バスを小さくすると人と人との距離が近くなる。(4)
- ・バス車両から「カタン」と音が鳴る時がある。新しいバスの発注はできるのか。(3)

その他

〈要望〉

- ・免許証返納支援について知らなかったため IC カードをもらうことができず、期限が切れてしまった。支援の期限をきちんと周知してほしい。
- ・ワクチン接種の移動支援などのお知らせ情報を手に入れることができなかった。(11)
- ・新しくできるイオンタウン前は、買い物帰りに荷物を持って道路を渡ってバス停に行かなくてはいけない。近くに横断歩道が欲しい。(6)
- ・JR 鵜沼駅付近の踏切が長い。(8)
- ・ayuca カードのデポジットの返金に、岐阜バス各務原営業所へ行かなければいけないのは不便。便利な場所のできるようにならないか。(9)

〈意見〉

- ・チョイソコ須衛・各務・八木山エリアの名前が長い。鵜沼南エリアも①と②では、どちらかわからなくなる。東・西の方が分かりやすい。呼び方が複雑で混乱するので、すっきりと短い名前の方がよいのでは。(7)
- ・「センター前」の停留所名が「郵便局前」の方が分かりやすい。(8)
- ・「センター前」のままの方が良い(8)
- ・経費や人手不足の問題というのではなく、知恵を絞ってほしい。(4)
- ・高齢者の活用を考えては。高齢でも優秀な運転士はおり、人材はいくらでもいる。(4)
- ・鵜沼南エリア②にチョイソコで行けるようになり便利になる。(10)
- ・いつもふれあいバスを利用している。那加線の増便ありがたい。(11)
- ・チョイソコのスポンサー停留所について、知らない人がほとんどなのは。もっと宣伝するとよい。(10)

令和5年度ふれあいバス等懇談会 対応方針

- 「ふれあいバス」「チョイソコかかみがはら」は、
- ・ 鉄道や民間路線バスを補完する公共交通。
 - ・ 鵜沼、蘇原、稲羽、那加、川島の地区ごとに路線を設定し、生活路線として運行。
 - ・ それぞれの路線が鉄道駅や路線バス停留所に接続しており、乗り継ぎで広域の移動が可能。
 - ・ 1つの路線に少なくとも1か所の商業施設と医療施設を入れている。

以上を前提に、ふれあいバス・チョイソコかかみがはらに対する個々の要望についてはそれぞれ検討し、その結果を次回の懇談会でお伝えする。

運行本数・運行時間

運転手不足が深刻で増便や運行時間を延ばすことは難しい状況。しかし、市民の皆様の日常生活の移動手段を確保するため、交通事業者と一緒に方法を考え、できることから対応していく。

停留所・ルート

どこに行きたいかは人それぞれで、すべての方の希望を満たすことはできない。目的地への移動は、ふれあいバス、チョイソコだけでなく、鉄道や民間路線バス、タクシーなども利用し、交通機関を乗り継ぐことが前提で設計してある。

停留所やルートは、変更を希望する声がある一方で、現状に満足して声を上げない方もいるため、慎重に検討を重ねる。

なお、地域としての課題があれば、自治会で意見をまとめて提案していただく。

乗り継ぎ

乗り継ぎを保証している便は、必ず無線で連絡し待機するようにしている。ダイヤの都合上、全ての便ではできないが、鉄道や路線バスの改正情報を早めに入手して、改正時には乗り継ぎ時間も意識する。

乗降環境

乗り継ぎ拠点は、商業施設や最寄りにトイレがある駅などに設定している。待合環境やバス乗降場の整備は、特に乗り継ぎ拠点となる乗降場の環境整備を推進し、安心して

利用できる環境を維持する。切り下げなど工事が必要な場合はすぐに対応することが難しいが、状況を見て対応を検討する。

運賃

乗継割引は、岐阜バスにも相談して検討する。鉄道会社が発行する交通系 IC カード利用時の適用については、現在システム改修中のため調整中。

ふれあいバスは誰でも 100 円という安価で移動ができるようにしている。一定の受益者負担が必要と考えているため、無料にする考えはない。障がい者と子ども（6～12 歳未満、ただし 12 歳でも小学生は「子ども」）は、鉄道や民間路線バスの運賃に合わせて、令和 6 年 4 月 1 日から半額にすることを検討。

チョイソコエリア拡大

鵜沼方面は、道幅が狭くバスが運行できないエリアがあったため、やむを得ずふれあいタクシーを導入し、そのエリアをチョイソコに切り替えた経緯がある。チョイソコはタクシー事業者の協力で運行しており、タクシーとの共存が大切。1 乗車 400 円、65 歳以上等は 200 円という廉価な運賃でタクシーに近いサービスを市が提供することは、タクシーの乗客を奪うことになりかねず、どこでもチョイソコを走らせることはできない。

サービス・対応

市または営業所に連絡してほしい。問題があれば、ドライブレコーダーで確認し対応する。停留所で待っているのにバスが行ってしまった場合は、その場で営業所に連絡を。状況により対応する。

緑苑団地線の渋滞については市でも把握しており、要望していた。音声案内などのデジタルシステムの都合もあり、すぐに改正はできない。

車両

ふれあいバスの定員は立って乗る方も含めて 35 人。タイミングによっては乗っていないように見える区間もあると思うが、平均 8 人から 10 人が乗車しており全員座れない区間もある。ふれあいバスは同じ車両が決まった路線を運行しているわけではなく、10 台の車両で全路線を回っているため、一部の車両を変更することは難しく、大きい車両にすると通れない道が増えてしまう。コンパクト化が必要なエリアは、チョイソコで対応している。

耐用年数が経って利用に問題がある場合は、適宜更新する。

その他

広報、周知が足りないことについては、機会をとらえて積極的に利用の仕方や仕組みを紹介していく。懇談会のほか、地域で10人程集まれば、個別に各町内の集会所での利用説明も引き受けている。